

新しい門出に向かって 小中学校で卒業式

3月14日(金)笠置・和東中学校で、3月19日(水)には笠置・和東・南山城小学校で卒業証書授与式が執り行われました。

今年の卒業生は、笠置中学校が33人、和東中学校33人、また笠置小学校が12人、和東小学校37人、南山城小学校17人でした。式典では卒業生の涙ぐむ姿も見られ、感動的で心に残る卒業式となりました。



笠置中学校



和東中学校



笠置小学校



和東小学校



南山城小学校



「不易と流行」を見極めた教育の展開

「本年度」連合の教育の重点

六年目を迎えた「広域連合」による教育の充実・発展を目指し、本年度のキーワードを「不易と流行」を見極めた教育の展開」としました。「れんけい」による相互支援と切磋琢磨に層の磨きをかけていきます。

【学校教育】

次は本年度重点の二本柱です。

- 一 「相楽東部だからできる」「相楽東部ならではの」教育の一層の推進
- 二 質の高い学力をはぐくむこと
- 三 豊かな人間性の育成

一本目の柱は「連合ならではの教育の一層の推進」です。広域

学校教育 具体的重点事項

- ① 一人一人が包み込まれ、みんなてつながる学校づくり
 - いじめの未然防止と不登校児童生徒ゼロ
 - スクールカウンセラーと連携した教育相談の充実
- ② 児童生徒の体力の向上
 - 運動能力、競技力の向上と運動部活動の充実
 - 「京の子ども元気なからだスタンダード」等の効果的な活用
- ③ 特別支援教育の充実
 - 特別な支援を必要とする児童生徒への適切な支援
 - 相楽通級指導教室の積極的活用
- ④ 学校図書館のセンター機能(読書及び学習・情報)の充実と活用
 - 図書館司書の有効活用による読書活動の一層の推進
 - 管内各町村図書室との積極的な連携
- ⑤ 管内学校間連携による相互支援と切磋琢磨
 - 小、小中、中中の確かなつながり
 - 交流学习・合同学習及び教職員間交流の充実
- ⑥ 目標に向かって挑戦し続け、外とつながる活気のある学校
 - 児童生徒の個性や能力を伸ばし、対外的に活躍する学校
 - 連合教育委員会研究指定校における研究発表会
- ⑦ 安心・安全な学校
 - 危機対応能力(自ら判断し、自ら行動する力)の育成
 - 安心・安全の確保に向けた教育環境づくり

連合のよき、小規模校の特性を活かした特色ある教育活動の展開、我がふるさとを愛し我がふるさとを誇りに思う児童生徒の育成、さらには、土曜日を活用した教育(土曜教育)の充実に努めます。

二本目の柱は、「学力の向上」です。基礎・基本の定着、活用する力の育成、学習意欲の向上にバランスよく取り組むことです。そのためには、各校教職員が自校の課題(領域・観点等)と目標(数値化)を共有し、組織として実践することが極めて大事です。

三本目の柱「豊かな人間性の育成」においては、道徳教育、人権教育など心の教育の一層の充実を図り、法や決まりを遵守する態度、他人を思いやる心の育成に力を注いでいきます。

これら三本柱を受けた具体的重点事項としては、上記の七点を掲げていきます。

【社会教育】

地域住民のニーズに応じた事業の展開と学習機会の提供、三町村間の活発な交流と相互支援、さらには、各町村における文化・スポーツ活動の活性化、社会教育関係団体における主体的活

動の促進にも努めていきたいと考えています。

その柱として、次の五点を挙げました。これらのもとに、本年度の具体的な事業を展開します。

社会教育の推進

- 1 乳幼児・青少年教育、成人教育や高齢者教育など生涯の各時期に応じた学習機会の充実
- 2 文化協会及び文化サークル連絡会の充実・発展、地域の特色を活かした文化活動の促進
- 3 地域住民のライフステージやライフスタイルに応じた生涯スポーツの推進
- 4 家庭の教育力、地域社会の教育力の再生と向上を目指す取組の推進
- 5 学校・地域、関係諸機関、各種団体などが一体となった総合的な人権教育の推進

少子高齢化、児童生徒数の激減等に拍車のかかる三町村です。

だからこそ、教育においては、どんなに社会が変化しようとも、「時代を超えて変わらない価値のあるもの」を大事にしつつ、「時代の変化とともに変えていくべきもの」に柔軟に対応して、広域連合の活性化を図っていく所存です。皆様の「理解・ご協力」のほどよろしく願います。(相楽東部広域連合教育委員会)